

2020年5月27日  
大王製紙株式会社

## 衛生用紙生産設備の増設について

当社は、衛生用紙製品のトップメーカーとして市場の拡大及び顧客のニーズに対応し、衛生用紙製品の国内での供給力を強化するため、本日(5月27日)開催の当社取締役会において、衛生用紙生産設備の増設を決議しましたのでお知らせします。

設置場所は当社三島工場(愛媛県四国中央市)で、以下の通りペーパータオル原紙を生産する抄紙機及び加工設備を増設します。

### 1. ペーパータオル原紙生産設備増設について

今回増設する設備は、次の通り需要が拡大しているペーパータオルの安定供給を強化するためのものであります。これらの設備増強により、構造改革をさらに加速させるとともに、需要が拡大し多様化する国内外の市場ニーズに対応できる体制とします。

国内のペーパータオル市場については、年々堅調な需要の伸長が予想されています。当社はこれまで商業施設や外食産業、医療福祉施設等の法人向けを中心に販売を進めてまいりました。また、新型コロナウイルス感染拡大による衛生面の意識向上、人々の生活様式の変化に伴い、家庭内での消費が増えており、今後一層の販売増を見込んでおります。この様な需要増に対応していくため、今回、競争力のあるパルプを活用できる三島工場に生産設備を設置することで、法人向けに加えて、一般家庭向けペーパータオルの安定供給体制をさらに強化してまいります。

### 2. 川之江工場の衛生用紙生産設備の増設の背景について

当社は、現在取り組んでいる第3次中期事業計画において、「紙・板紙事業とホーム&パーソナルケア事業を横断した抜本的な構造改革」を戦略テーマに掲げ、三島工場の競争力のあるパルプを、国内外で需要が伸長している段ボール原紙やクラフト紙、衛生用紙へと活用していくことを推進しております。

2018年10月には、当社川之江工場にティッシュペーパー、トイレットペーパーを生産する1号抄紙機・加工設備が稼働しましたが、生活様式の変化に伴うローションティッシュ等の付加価値商品等の需要増により、既に生産・販売余力がなくなっております。先日公表しました2021年10月稼働予定の川之江工場2号抄紙機は、衛生用紙の安定供給を一層強化するものです。

3. 本計画の概要について

- 1) 生産品種 ペーパータオル
- 2) 生産能力増 月産 約 1,500 トン
- 3) 設備投資額 約 60 億円
- 4) 設置場所 愛媛県四国中央市(当社三島工場)
- 5) 営業運転開始 2021 年 7 月



**【本リリースに関するお問い合わせ先】**

大王製紙株式会社

ホーム&パーソナルケア部門 ファミリーケア・ブランドマーケティング部

牧野、宮本 TEL : 03-6856-7599